



自作の竹箸などで流しそうめんを楽しむ子どもたち

塩川児童クラブ 坂下の自然満喫 体験プログラム

会津坂下町グリーンツーリズム促進委員会主催の自然体験プログラムは8月24日、同町の里山のアトリエ坂本分校で開かれ、子どもたちが夏の自然を満喫した。

同プログラムは、子どもたちに屋外で自由に遊べる場を提供し、自然に触れてもらう機会をつくろうと、県の「ふくしまっ子体験活動応援事業」を活用し、同委員会と会津若松市

の旅行会社アール・エイチ企画が共同で企画。喜多方市塩川町の塩川児童クラブの子どもら約65人が参加した。

子どもたちは、地元の竹を使ってカップや箸作りに挑戦。ノコギリで切ったり、ナタで割ったり、切り出しナイフで削るなど製作体験を楽しんだ。昼には、自分たちで作った箸などを使い、流しそうめんを堪能。同分校所有のピザ窯で焼かれたピザも味わった。夏の自然体験を満喫し、参加した子どもたちには笑顔があふれていた。